

【年間テーマ：抑制を廃止するための取組み】

平成 29 年 1 月 23 日提出

日付	平成 28 年 12 月 10 日 (土)			
場所	ホテルセントラーザ博多		記録者名：山下 礼子	
出席者 (敬称略)	小森病院 高鷹 早苗	東福岡病院 湧上 聡子	北九州古賀病院 秋篠 あい子	津屋崎中央病院 石井 真一郎
	共立病院 岡本 慎介	稲築病院 大塚 満徳	東福岡和人会病院 西山 直美	北九州湯川病院 石見 実穂子
	西福岡病院 落合 慶子	永野病院 山下 礼子		
テーマ	スピーチロック、教育してどうだったか？の活動報告			
結論	<p>今回、代替の言葉の表を活用し、朝礼、昼礼などで意識を深めるための教育を行なった後、再度、前回と同じアンケートを行った。</p> <p>前回と変わらない病院もあるが、前回より良くなった病院もある。</p> <p>スタッフ間で注意し合い、お互いに声を掛けるようになってきた病院が多かった。</p> <p>又、病院によっては、スタッフより「注意しづらい」との意見もあった。が、全体的に見るとアンケートすることで確実に 1 回目より 2 回目の方が、職員の意識が向上した。</p>			
決定事項	スピーチロック廃止への取組みの継続			
備考	発表のため、各自準備をする。			
次回討論項目	まとめ：プレゼンテーション			

抑制廃止とケアの質を高める会
事務局

E-メールアドレス info@famcf.jp

(FAX.092-691-3961)